

令和4年度 市政アンケート調査 集計結果活用状況

(令和5年3月末時点)

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第1回	「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について (住宅都市局 活用課)	<ul style="list-style-type: none"> ・セントラルパーク基本計画策定の基礎資料として、調査結果を活用してきた。 ・セントラルパーク構想は、県をはじめ、市の公園、文化財、観光部署など複数の関係部署が密に連携しながら取り組みを進めている。調査結果は、関係部署と共有し、事業実施の際の基礎資料として活用している。 ・季節の祭りについては、現在も将来も共通して利用ニーズが高いとの調査結果を踏まえ、福岡城さくらまつりや福岡城梅まつりなど、既存イベントの内容を充実させるとともに、多様な民間イベントの受け入れ、季節を通じた販わい創出に取り組んでいる。また、春、夏、秋の季節のイベントをパッケージ化したイベントガイドを作成するなど、情報発信についても強化している。 	<p>セントラルパーク基本計画の進捗管理や、園路舗装整備及び駐車場再編などの各種事業を検討する際の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。</p>
	「環境保全の意識」について (環境局 環境政策課)	<p>「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として活用するとともに、調査結果を基に環境保全に関する広報・啓発を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」の成果指標の数値として活用する。 ・環境保全に関する広報・啓発を行うにあたり基礎となる経年比較や年代比較等の資料として活用する。
	「自転車損害賠償保険等への加入状況」について (市民局 防犯・交通安全課)	<p>自転車損害賠償保険等への加入状況の現状を把握し、効果的な周知・啓発を実施するための基礎資料として調査結果を活用している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市自転車活用推進計画」の成果指標の数値として活用する予定である。 ・引き続き、自転車損害賠償保険等への加入促進に向けた基礎資料とし、周知・啓発を図っていく予定である。
	「熱中症対策」について (環境局 環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症の危険性が高い日にLINE等で注意喚起情報を発信しているが、その認知度が低い結果を受け、新たに作成した啓発チラシに情報発信について掲載した。 ・熱中症対策事業を推進する際の基礎資料として、熱中症に対する意識や行動等について関係部局と共有することで活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を基に、より効果的な啓発内容や広報手段を検討する予定である。 ・今後の熱中症対策事業を推進するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 2 回	「ふくおかさん家のうまかもん」 について (農林水産局 政策企画課)	「ふくおかさん家のうまかもん」(市内産農林水産物及びその加工食品等)に関する事業の基礎資料として、調査結果を活用している。	「ふくおかさん家のうまかもん」の認知度向上や利用促進に向けた取組みを推進するとともに、引き続き継続して調査を実施し、効果的な事業を推進するための基礎資料として活用する予定である。
	「消費生活」について (市民局 消費生活センター)	「消費生活センターの認知度」については、「第2次福岡市消費者教育推進計画」の成果指標として位置づけ、福岡市消費生活審議会及び福岡市消費者教育推進会議において、毎年度、報告の上、進捗状況の確認を受けている。認知度はもとより、その他の集計結果についても、毎年度作成する「事業概要」に掲載の上、審議会や推進会議の委員に配布するほか、本庁・各区役所で市民の閲覧に供し、効果的な施策・事業実施に向けた基礎資料として活用している。	当センターに寄せられる相談の動向に加え、幅広い市民の消費生活実態を把握することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止に向け、効果的な消費者教育・啓発を実施するための基礎資料として活用する予定である。
	「省エネルギーと再生可能エネルギー」について (環境局 脱炭素社会推進課)	「ECOチャレンジ応援事業」や「住宅用エネルギーシステム導入促進事業」、「次世代自動車の普及促進」により得られるデータなどと合わせて、家庭での省エネ促進や再生可能エネルギー導入拡大、自動車の脱ガソリン車化に向けた、効果的な施策展開を検討するための基礎資料とした。	家庭における省エネルギーや再生可能エネルギーの導入に関する取組み状況や今後の取組み予定を把握し、脱炭素社会の実現に向けた施策の検討に活用する予定である。
	「福岡スマートシェアサイクル事業」について (道路下水道局 自転車課)	問22のサービスの満足度や問25の事業継続に係る意向の調査結果について、市と事業者が共同で行っている「福岡スマートシェアサイクル事業」の事業継続の検討に活用した。	交通関連計画の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。 また、シェアサイクルの実施事業者にも共有し、今後の事業運営に役立てていく。
	「ユマニチュード(R)」について (福祉局 認知症支援課)	市民へのユマニチュードの周知、及び事業検討のための参考資料として活用した。	ユマニチュードの普及啓発に取り組む上での企画・広報等の参考資料として、今後の効果的な事業実施に努めていく予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 3 回	「情報通信の利用状況」について (総務企画局 ICT推進課)	問24で尋ねた「インターネットでできる福岡市の手続き」の認知度向上のため、市ホームページやメールマガジンで定期的に情報発信を行った。	行政手続きのオンライン化をはじめとする情報化の取り組みを拡充するための基礎資料とし、市民の利便性向上を図っていく予定である。
	「博多湾の海底ごみ」について (農林水産局 水産振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・博多湾の海底ごみ削減に向けた市民啓発事業「FUKUOKA おさかなレンジャー～海底ごみから博多湾を守れ！～」は、海底ごみ・リデュースについての市民意識の向上を成果指標としており、調査結果を基礎資料として活用した。 ・広報物の制作やイベントでの呼びかけなど、啓発を効果的に行うための参考資料として活用した。 	・市民意識の変化を図ることで、効果的な啓発活動を行うための参考資料として活用していく予定である。
	「福岡市の国際化」について (総務企画局 アジア連携課、国際交流課)	<p>【福岡市の国際交流(姉妹都市交流)について】 姉妹都市交流事業を企画する際の基礎資料として活用している。</p> <p>【福岡アジア文化賞について】 「福岡アジア文化賞」の広報や事業を企画する際の参考資料として活用している。</p>	<p>【福岡市の国際交流(姉妹都市交流)について】 姉妹都市に対する認知度が都市によって大きく違うことから、引き続き、認知度向上を図る際の基礎資料として活用する予定である。</p> <p>【福岡アジア文化賞について】 「福岡アジア文化賞」の認知度向上に向けた取り組みに調査結果を活用する。また、若い世代の認知度が低いことから、若者や学生を対象とした取り組みを充実していく予定である。</p>
	「道路整備」について (道路下水道局 道路計画課)	「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用している。	次期「道路整備計画」策定の基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第 4 回	「福岡市の広報活動」について (市長室 広報課)	市政だよりの特集テーマの選定や、ホームページの運用等において参考とした。 また、「行政運営プラン(R4~R6)」の成果指標の数値として活用した。	今後の市政だよりの発行や、ホームページ・LINE公式アカウントの運用において、調査結果を活用する予定である。
	「住宅用火災警報器」について (消防局 予防課)	・令和4年度の市内設置状況等調査の基礎資料として活用した。 ・各世代と比較して、高齢者の設置率が低かったことから、市政だよりによる広報をや地域の団体等を通じた啓発を実施した。 ・調査結果を総務省消防庁に報告した。	・「住宅用火災警報器」設置状況や市民の意識の傾向を把握するための基礎資料とするとともに、今後の設置率向上に向けた広報手段を検討し、市民の防火意識の向上を図っていく予定である。 ・本調査結果を総務省消防庁への報告に反映させる予定である。
	「地域の活動やまちづくり」について (市民局 コミュニティ推進課)	本市の地域コミュニティ施策について検証・検討を行ううえで、基礎データとして活用した。	本市の地域コミュニティ施策について検証・検討を行ううえで、基礎データとして活用する予定である。 また、自治会・町内会の活動に関する基礎知識などをまとめた冊子「自治会活動ハンドブック」に一部の結果を掲載し、地域活動の参考としていただく予定である。
	「選挙」について (選挙管理委員会事務局 選挙課)	選挙がないときは常時啓発の、選挙が近づいたときは選挙時啓発の基礎資料として、調査結果を活用している。 さらに、令和5年4月9日執行予定の統一地方選挙の啓発を目的とし作成する「せんきょかわら版」の掲載内容を検討する際の参考とした。	若年層の投票率向上のための啓発事業の検討、また、今後、選挙が次回執行される際の啓発事業を検討するための基礎資料として、調査結果を活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第5回	「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について (水道局 総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果なども踏まえて、関連する事業が着実に実施できるよう、第2次福岡市水道中期経営計画を策定した。また、節水意識及び水道行政に対する満足度の数値を、福岡市水道長期ビジョン2028及び第2期中期経営計画の成果指標として活用した。 ・「安全でおいしい水道水プロジェクト」の基礎資料として、調査結果を活用した。 ・「水道水の安全性についての不安な理由」を元に、貯水槽管理に関するニーズの把握を行い、事業の検証及び今後の取り組みに活用した。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識、満足度の結果を分析し、より市民のみなさまに伝わる水道広報の検討に活用する予定である。 ・「水道水の安全性」など、水道水質に関するお客さまの意識の変化を経年的に把握し、「安全でおいしい水道水プロジェクト」の取り組み状況の検証等に活用する予定である。 ・引き続き、貯水槽管理に関するニーズを把握し、これまで行ってきた事業の検証及びニーズに合わせた情報発信を行い、市民のみなさまに安全で良質な水道水をお使いいただけるように活用する予定である。 ・「福岡市の水事情」及び「森林保全活動や交流事業」についての認知度を分析し、事業参加を呼びかける有効な広報手段の検討に活用する予定である。
	「『食』の安全・安心」について (保健医療局 食品安全推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第9次福岡市基本計画」施策3-7の成果指標として活用している。 ・「令和5年度福岡市食品衛生監視指導計画」策定の基礎資料として活用した。 	福岡市食品衛生監視指導計画策定、食の安全安心に係る市民啓発事業のテーマ選定時の基礎資料として活用する予定である。
	「図書館の利用」について (教育委員会 総合図書館運営課)	「福岡市総合図書館新ビジョン」に基づく、図書館運営にかかる取り組みの推進や検討のための基礎資料として活用している。	「福岡市総合図書館新ビジョン」に基づく、図書館運営にかかる取り組みの推進や検討のための基礎資料として活用する予定である。
	「福岡市の行政運営の取り組み」について (総務企画局 行政マネジメント課)	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での参考として活用した。	「行政運営プラン」に基づき、効果的・効率的な行政運営に取り組む上での基礎資料として活用する予定である。

	テーマ (担当課)	集計結果活用状況	
		これまでの活用状況	今後の活用予定
第6回	「家庭ごみ」について (環境局 計画課、ごみ減量推進課)	ごみ処理基本計画の取組指標として、調査結果を活用しており、調査結果を基に環境審議会にて進捗状況の評価を行うとともに、ごみ減量施策検討の基礎資料として活用した。	ごみ処理基本計画に基づく施策の進行管理を行ううえで重要な指標であり、今後も経年変化を把握するとともに、新規施策の検討にも活用していく。
	「ユニバーサル都市・福岡」について (総務企画局 企画調整部)	福岡市基本計画において、「ユニバーサル都市・福岡の推進」の成果指標の数値とするとともに、取組みの基礎資料として活用している。	福岡市基本計画において、令和6年度の目標値を「ユニバーサルデザインの概念の理解度」70.0%、「ユニバーサルデザインの取組みへの評価」65.0%、また、政策推進プラン(第3次実施計画)において、「ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの認知度」65.0%と設定し、事業の進捗管理を行っており、引き続き、調査結果を活用して効果的な事業実施に努めていく。
	「食育」について (保健医療局 健康増進課)	食育に関する取組みの推進や検討のための基礎資料として、調査結果を活用している。	「福岡市食育推進計画」の進捗状況の把握・確認のために、調査結果を活用する予定である。・食育に関する取組みの推進や検討のための基礎資料とし、普及・啓発を図っていく予定である。
	「福岡市議会の広報活動」について (議会事務局 調査法制課)	前回調査(令和元年度)で市議会だよりに次いで2番目に認知度が高かったポスターについて、高校生のデザインによるポスター作成や掲示場所の拡大などの工夫を行った。また、市議会だよりでレイアウトが見にくいという割合が増えていたため、一般質問の見出しや二次元バーコードの追加などの改善を行った。	「ふくおか市議会だより」以外の広報活動の認知度が低かったことから、各広報媒体での掲載内容を工夫するなど、市民に親しみやすい議会の広報に努めていく。